

学校体育指導資料第39集〈中学校編〉

新しい体育の展開



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

千葉県教育庁
教育振興部体育課

令和3年4月

挨拶

中央教育審議会においては、学習指導要領全体の見直しについて審議が行われ、平成28年12月に「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な政策等について」の答申が出されました。

同答申に基づき、平成29年に告示された中学校学習指導要領においては、学校教育が長年育成を目指してきた「生きる力」を改めて捉え直し、学校教育がしっかりとその強みを発揮できるようにしていくことが必要であるとされ、3年間の移行期間を経て、令和3年度から全面実施されます。

保健体育科としては、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、「生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する」ことを目指しています。

県体育課では、これまで学習指導要領の改訂に伴い、その趣旨を踏まえた「指導資料」を作成し、各学校が適切に学習指導要領を展開するための参考資料として供してきました。

今回の改訂に際しましても、令和元年度から2か年にわたり「学校体育指導資料第39集〈中学校編〉作成委員会」を設置し、11回を数えた委員会をとおして協議を重ね、本指導資料を発行する運びとなりました。

本指導資料は、これまで県体育課が作成した指導資料を参考に、新たな学習指導要領の趣旨と県内の体育学習指導の実態を十分に考慮し、より多くの先生方に活用いただくことを願って作成いたしました。活用にあたっては、生徒、学校、地域の実態等に応じて工夫・改善を加え、全ての生徒が運動やスポーツの楽しさや喜びを味わい、自発的・自主的に運動する体育学習が、県内に広く展開されることを期待いたします。

おわりに、本指導資料の作成に当たり、多大な御協力をいただきました委員の皆様に対し深く感謝申し上げます。

令和3年4月

千葉県教育庁教育振興部体育課長

<目次>

第1章 新学習指導要領 要点の整理

第1節 改訂のポイント

- 1 改訂の基本的な考え
- 2 保健体育科の目標
- 3 体育分野の目標
- 4 体育分野【内容及び内容の取扱い】の主なポイント

第2節 年間指導計画（例）

第3節 評価について

- 1 各単元の評価について
- 2 年間計画作成，評価規準の作成から指導と評価計画作成まで
- 3 観点別学習状況の評価の判断例

第4節 主体的・対話的で深い学び

第5節 カリキュラム・マネジメント

第6節 ICTの活用について

- 1 保健体育科におけるICTの活用
- 2 保健体育科におけるICT活用のメリットとデメリット
- 3 活用方法
- 4 まとめ

第7節 男女共習について

- 1 生涯スポーツの視点
- 2 コミュニケーションや協力・協働を重視
- 3 共習授業の実践に向けて
- 4 まとめ

第2章 安全対策について

- 1 用具・教具の安全対策
- 2 活動中の安全対策
- 3 健康面に配慮した安全対策
- 4 用具（場）の工夫

第3章 略案（例）について

第4章 学習指導案におけるアンケート調査

- 1 アンケートの意義について
- 2 アンケート調査の実際
- 3 その他の目的に応じた実態調査
- 4 まとめ

第5章 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した体育授業の展開例

- A 体づくり運動
- B 器械運動
 - ・マット運動
 - ・跳び箱運動
- C 陸上競技
 - ・短距離走・リレー・ハードル走
- D 水泳
- E 球技
 - ・ゴール型（バスケットボール）
 - ・ゴール型（ハンドボール）
 - ・ネット型（ソフトテニス）
 - ・ネット型（バレーボール）
 - ・べールボール型（ソフトボール）
- F 武道
 - ・柔道
 - ・剣道
 - ・相撲
- G ダンス
 - ・創作ダンス
 - ・現代的なリズムのダンス
- H 体育理論

第6章 全ての「単元の評価規準」例